



贅沢なロケーションでテントサウナ

隊員の頃、屋外で入れるテントサウナを使つたイベントを開きました。この小学校跡でも開催し、九州初開催ということもあります。からサウナ好きたちが集まり、賑わいました。

テントサウナで気持ちよく汗をかいて、すぐ横の山野川で天然の水風呂。トイレや駐車場は整備されています。懐かしい気分が味わえて、澄んだ空気の中ゆったりとした楽しい時間を過ごすことができる。そうした良さを味わつて欲しいなと思います。



布計のつらら



映画「THE WINDS OF GOD -KAMIKAZE-」のロケ地に



伊佐市 じまんばな誌 2 布計小学校跡

木造の校舎が昭和の時代へ タイムスリップさせてくれる

ノスタルジックな布計小学校跡

伊佐市内からずいぶん山道を車で登り、熊本県との県境までもう少しのところにある大口布計地区。「鹿児島の北海道」といわれる伊佐市の中でも、最も北にある一番寒い地域で、冬には立派な氷柱を見ることができます。

かつては、金鉱山があつて、昭和63年に廃線になるまで、金鉱石や木材、人々を乗せてJR山野線が走っていました。駅舎は残つていませんが、「薩摩布計駅」の表示板などは残つていて当時の雰囲気を少し感じることができます。

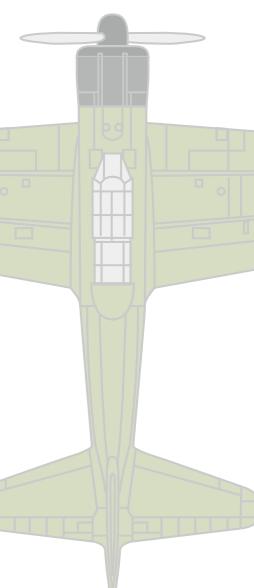
その布計地区にたどり着む旧布計小学校の校舎。まぶしきるほどの陽の光がふりそそぐ緑の校庭、抜けるような青い空と茶褐色の木造校舎の調和に心が和みます。校庭のすぐ横には、天然のプールのような山野川が流れています。水は透き通り、やや深いところは川におおいかぶさる木々の緑を映し、陽の光がキラキラと輝いています。

昭和へと時がもどつていく

僕は学生時代を北海道で過ごしたため、伊佐が鹿児島の北海道と呼ばれていることに縁を感じていました。最初にここへ来た時、学校の鍵は近所のおばあちゃんが管理していました。そのおばあちゃんがとても親切な方で、息子みたいにかわいがつてもらい、鹿児島の北海道がますます大好きになりました。(現在では伊佐市PR課に連絡して鍵を受け取ります。)

緑の校庭と、床も壁も天井もすべてが茶褐色の深みがあつてなつかしさを感じる木造校舎。

語り手 林 峻平さん
元伊佐市地域おこし協力隊員でテントサウナを使ったイベントなどを仕掛ける。福岡生まれで長崎・北海道で学生生活を送り、卒業後はビジネスマンとして海外も経験した。協力隊員を卒業後も伊佐に定住し、伊佐の魅力発信や古民家再生などに取り組んでいる。



詳しい地図へ
QRコード